



2020年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年5月15日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 GSIクレオス

コード番号 8101 URL <http://www.gsi.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉永 直明

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営企画部長 (氏名) 小野 国広

定時株主総会開催予定日 2020年6月26日

配当支払開始予定日

TEL 03-5211-1802

有価証券報告書提出予定日 2020年6月26日

2020年6月29日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期の連結業績(2019年4月1日～2020年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	115,548	△16.6	1,191	△29.2	1,213	△26.9	1,008	△12.4
2019年3月期	138,487	3.6	1,683	7.0	1,661	10.6	1,152	26.1

(注) 包括利益 2020年3月期 522百万円 (14.5%) 2019年3月期 455百万円 (△59.4%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2020年3月期	159.85	—	5.3	2.0	1.0
2019年3月期	178.92	—	6.1	2.7	1.2

(参考) 持分法投資損益 2020年3月期 △12百万円 2019年3月期 31百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期	58,532	19,193	32.8	3,065.74
2019年3月期	61,618	18,991	30.8	3,006.92

(参考) 自己資本 2020年3月期 19,193百万円 2019年3月期 18,991百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年3月期	913	△828	△577	11,899
2019年3月期	2,199	△196	△2,131	12,437

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2019年3月期	—	—	—	40.00	40.00	252	22.4	1.3
2020年3月期	—	—	—	45.00	45.00	281	28.2	1.5
2021年3月期(予想)	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 2021年3月期の配当予想につきましては、1株当たりで2020年3月期もしくはそれ以上の配当額を目指しており、配当の前提となる合理的な連結業績予想が確定した時点で、業績予想とともに公表いたします。

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大による影響を精査中であり、合理的に予想することが可能となった時点で速やかに公表いたします。

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)： 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数

2020年3月期	6,464,971 株	2019年3月期	6,464,971 株
2020年3月期	204,402 株	2019年3月期	148,875 株
2020年3月期	6,311,847 株	2019年3月期	6,440,742 株

(参考) 個別業績の概要

2020年3月期の個別業績(2019年4月1日～2020年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	64,227	△12.7	626	△0.7	1,054	12.0	945	42.9
2019年3月期	73,588	3.5	631	75.5	941	46.2	661	55.7

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期	149.80	—
2019年3月期	102.74	—

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
2020年3月期	36,860		12,947	35.1			2,068.10	
2019年3月期	39,518		12,644	32.0			2,001.89	

(参考) 自己資本 2020年3月期 12,947百万円 2019年3月期 12,644百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】P. 3「1. 経営成績等の概況(4) 今後の見通し」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
(5) 利益配分に関する基本方針および当期・次期の配当	4
2. 企業集団の状況	5
3. 経営方針	6
(1) 会社の経営の基本方針	6
(2) 中長期的な会社の経営戦略と対処すべき課題	6
4. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	7
5. 連結財務諸表及び主な注記	8
(1) 連結貸借対照表	8
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	10
連結損益計算書	10
連結包括利益計算書	12
(3) 連結株主資本等変動計算書	13
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	15
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	17
(継続企業の前提に関する注記)	17
(セグメント情報等)	18
(1株当たり情報)	21
(重要な後発事象)	21
6. 個別財務諸表	22
(1) 貸借対照表	22
(2) 損益計算書	24
(3) 株主資本等変動計算書	25

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

① 当期の概況

当期におけるわが国経済は、輸出が減少傾向にある中、製造業を中心に企業収益にかげりが見え始め、また、長引く米中貿易摩擦や中東情勢の緊迫化などの影響により、景気の先行きは不透明な状況が続きました。さらには、2020年年初からの新型コロナウイルス感染症の世界的な流行拡大により、世界経済はより一層減速感を増す状況となりました。

こうした中、当社グループは、2021年3月期を最終年度とする3ヵ年の中期経営計画で掲げた、「海外売上高の拡大」や「収益性の向上」などの重点施策に取り組んでまいりましたが、暖冬などの天候不順や新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受ける結果となりました。感染症拡大の影響は主に繊維関連事業に及び、中国での生産が遅延し物流も停滞するなど、サプライチェーンに乱れが生じました。

当期の業績につきましては、売上高は、前期比22,938百万円、16.6%減収の115,548百万円となりました。売上総利益は、前期比780百万円、5.9%減益の12,384百万円、営業利益は、前期比492百万円、29.2%減益の1,191百万円、経常利益は、前期比447百万円、26.9%減益の1,213百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は、前期比143百万円、12.4%減益の1,008百万円となりました。

② セグメント別の概況

< 繊維関連事業 >

- ・ インナー用機能糸・生地の海外販売およびパンスト・タイツ用加工糸の取引が減少しました。
- ・ 中国におけるインナー製品のOEM取引がやや減少し、婦人ファンデーションの取引も低調に推移しました。
- ・ 欧米向けのアウトター用生地取引およびアウトター製品の取引は増加しました。

以上の結果、当事業全体では、売上高は、前期比20,007百万円、18.2%減収の89,782百万円となり、セグメント利益（営業利益）は、前期比419百万円、44.2%減益の529百万円となりました。

< 工業製品関連事業 >

- ・ 塗料原料の取引が増加しましたが、フィルム関連の取引および米国における化学品の取引は低調に推移しました。
- ・ 「環境関連事業の拡大」に向けて、前期から開始した生分解性プラスチック関連の取引は堅調に推移しました。
- ・ 中国製半導体基板および機械装置の取引は減少しました。
- ・ ホビー関連の取引は輸出取引を中心に増加し、化粧品原料の取引は堅調に推移しました。

以上の結果、当事業全体では、売上高は、前期比2,931百万円、10.2%減収の25,766百万円となり、セグメント利益（営業利益）は、前期比183百万円、13.6%減益の1,170百万円となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末における総資産は、売上債権の減少などにより、前期末比3,085百万円減少の58,532百万円となりました。

負債は、仕入債務の減少などにより、前期末比3,287百万円減少の39,339百万円となりました。

純資産は、その他の包括利益累計額の減少がありましたが、親会社株主に帰属する当期純利益の計上により株主資本が増加しましたので前期末比201百万円増加の19,193百万円となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

営業活動によるキャッシュ・フローは、913百万円の収入（前期末比1,285百万円の収入の減少）となりました。主な要因は税金等調整前当期純利益の計上などによるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは、828百万円の支出（前期末比631百万円の支出の増加）となりました。主な要因は貸付による支出などによるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローは、577百万円の支出（前期末比1,553百万円の支出の減少）となりました。主な要因は配当金の支払いなどによるものです。

これらに換算差額による減少額45百万円を加味した結果、当期末における現金及び現金同等物の残高は前期末比538百万円減少の11,899百万円となりました。

なお、当社グループのキャッシュ・フロー指標のトレンドは下記のとおりであります。

	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期
自己資本比率 (%)	30.2	30.8	32.8
時価ベースの自己資本比率 (%)	16.2	11.9	10.6
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (%)	1,135.1	647.0	1,540.3
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	7.5	12.7	4.9

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー／利払い

(注1) 各指標は、いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。

(注2) 株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式総数（自己株式控除後）により計算しております。

(注3) 営業キャッシュ・フローは連結キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを使用しております。

(注4) 有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っているすべての負債を対象としております。また、利払いにつきましては、連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。

(4) 今後の見通し

今後につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響による世界的な消費の落ち込みや生産活動の減速などが想定され、世界経済が大きく減速し、厳しい経営環境が続くものと思われま

す。このような環境の中、2021年3月期を最終年度とする3ヵ年の中期経営計画で掲げた目標の達成に向けて、諸施策を着実に実行し、収益基盤の強化と財務体質の改善を進めてまいりますが、世界経済の今後の動向が不透明な中、業績の予想が困難な状況にあります。

従いまして、次期は当期比で増収増益を目指しておりますが、次期の連結業績予想につきましては、合理的に予想することが可能となった時点で速やかに公表いたします。

なお、当社グループは、新型コロナウイルス感染症に関して、従業員ならびに関係者の皆様の安全を最優先とし、行政の方針・指導に従い感染拡大の防止に努めるとともに、長期化した際の対応策の策定と終息後に迅速な対応を行うための準備にも引き続き取り組んでまいります。

(5) 利益配分に関する基本方針および当期・次期の配当

当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営の重要政策と位置付け、安定的かつ継続的な利益還元を実施するとともに、配当性向25%以上を目指すことを基本方針としております。

この方針にもとづき、当期の配当につきましては、本日開催の取締役会において、1株当たり前期比5円増配となる45円とすることを決定させていただきました。これまで当社は、定時株主総会での決議をもって配当に関する事項を決定しておりましたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、定時株主総会の当初予定通りの開催が懸念される状況を踏まえ、2020年3月31日を基準日とする当期の配当の実施をいち早く決定すべく、取締役会での決議をもって決定させていただきました。

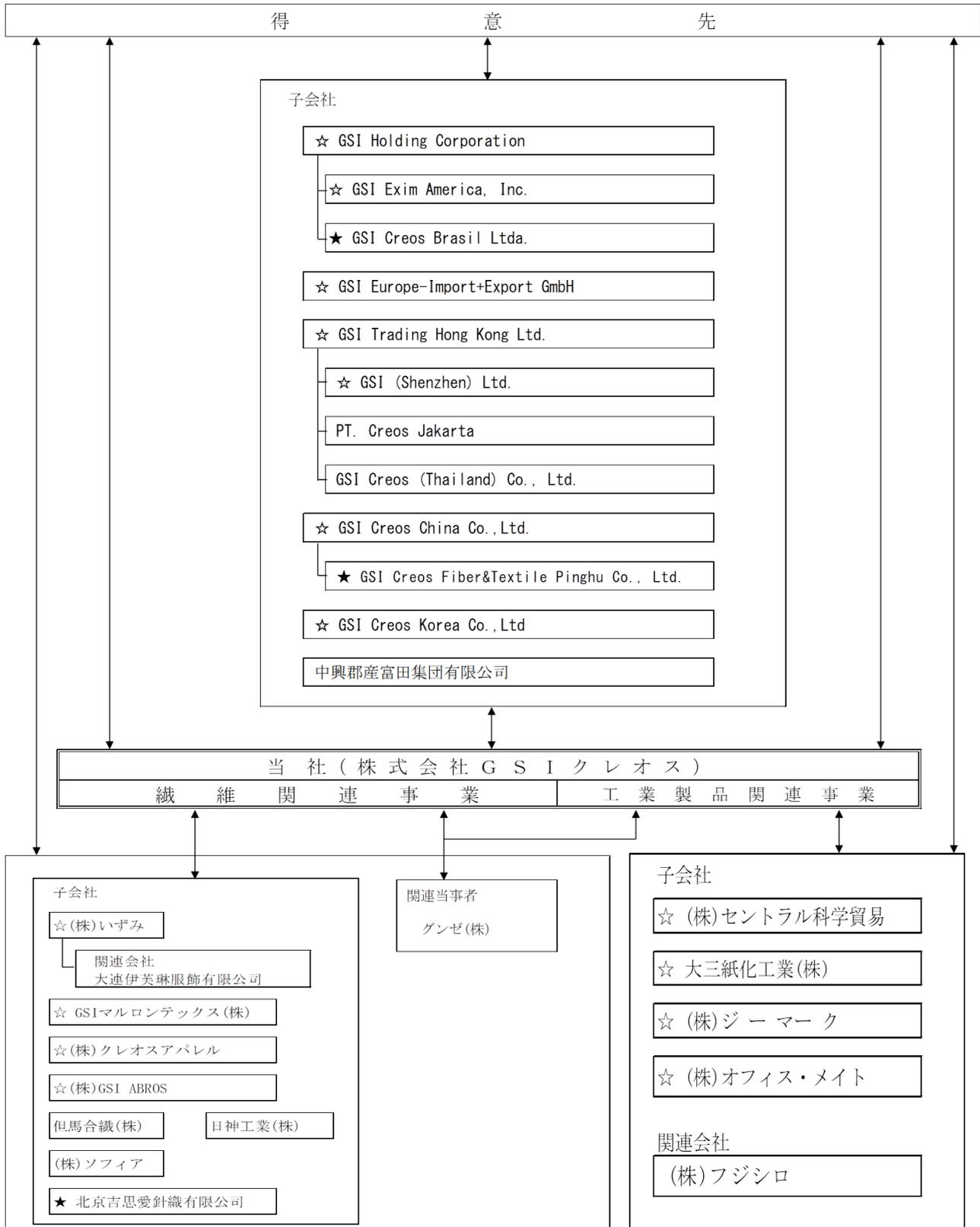
なお、当社は、配当に関する事項につきましては、取締役会の決議により決定できる旨を定款に定めております。

次期の配当につきましては、1株当たりで当期もしくはそれ以上の配当額を目指しており、配当の前提となる合理的な連結業績予想が確定した時点で、業績予想とともに公表いたします。

2. 企業集団の状況

当社グループは、(株)G S Iクレオス(当社)と子会社24社、関連会社2社で構成されており、糸からアパレルまでの繊維関連事業および機械、化成品、その他商品の工業製品関連事業を主な事業とし、これら関連商品の事業も営んでおります。

各事業における当社および関係会社の位置付けは次のとおりであります。



☆ 連結子会社
 ★ 持分法適用非連結子会社
 → は商品等の流れ

3. 経営方針

(1) 会社の経営の基本方針

当社グループの企業理念は、存在理念、経営理念、行動理念から構成されております。その中核である「存在理念」の中に謳っておりますとおり、当社グループは「次代の生活品質を追求するビジネスプロデューサー」として、「株主」「取引先」「従業員」等すべての当事者の信頼と期待に応え、その幸せを実現することを経営の基本方針としております。

(2) 中長期的な会社の経営戦略と対処すべき課題

当社グループは、2020年ビジョン「ニッチな分野でグローバルに独自の機能を提供する事業創造型商社として社会に貢献する」のもと、2021年3月期を最終年度とする3ヵ年の中期経営計画を策定いたしました(2018年8月3日公表)。計画策定時には想定していなかった新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、経営環境は厳しさを増しておりますが、感染症拡大による影響への対応を徹底しながら、人材教育の充実とIT基盤の強化などによる「人材の充実と働き方改革への対応」を含めた「重点施策」を着実に実行することにより、収益基盤の強化と財務体質の改善を進め、成長路線への転換を図ってまいります。

*ニッチな分野とは、市場規模の大小を問わず、広範囲な対象事業領域の中で、メーカーが直接攻めにくく、他商社の追随を許さない、当社グループが得意としている商材や事業分野をいいます。

中期経営計画の概要は次の通りです。

【基本方針】

「進化と成長」をキーワードにして組織・人の強化を図り、当社グループの強みを総合力として活かし、新たな価値を創造し提供する。

- ①世界で稼ぐ力の強化徹底
- ②当社主導ビジネスモデルの深耕
- ③重点事業・新規事業への経営資源投入
- ④グループ連携の強化

【重点施策】

①海外売上高の拡大

「海外現地法人の経営・営業力強化」、「現地社員の計画的育成」や「海外拠点との連携による事業戦略の実行」により、海外売上高の拡大を図る。

②収益性の向上

「戦略パートナーとの関係強化」、「バリューチェーンによる付加価値の向上」、「新規事業の創出」や「業務効率化の推進」により、収益性の向上を図る。

③人材の充実と働き方改革への対応

「グローバル人材およびプロフェッショナル人材の育成強化」、「社員の能力開発促進」や「女性管理職の登用」により、人材の充実を図るとともに、働き方改革に対応する。

④内部統制システムの充実とリスク管理の徹底

「不採算事業への対処徹底」、「社員のコンプライアンスマインドの醸成」や「経営および事業におけるリスクマネジメントの即時対応力強化」により、内部統制システムの充実を図るとともに、徹底したリスク管理を行う。

4. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、IFRSの適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

5. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,437	11,899
受取手形及び売掛金	28,675	25,432
商品	9,195	9,382
未着商品	339	264
その他	1,138	1,469
貸倒引当金	△209	△190
流動資産合計	51,577	48,258
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,791	3,792
減価償却累計額	△2,278	△2,355
建物及び構築物（純額）	1,512	1,436
機械装置及び運搬具	2,565	2,590
減価償却累計額	△2,406	△2,427
機械装置及び運搬具（純額）	158	162
工具、器具及び備品	443	462
減価償却累計額	△350	△374
工具、器具及び備品（純額）	92	88
土地	2,536	2,534
リース資産	229	334
減価償却累計額	△73	△130
リース資産（純額）	155	203
建設仮勘定	9	—
有形固定資産合計	4,466	4,425
無形固定資産		
リース資産	454	352
その他	65	110
無形固定資産合計	520	463
投資その他の資産		
投資有価証券	2,781	2,508
出資金	910	967
長期貸付金	100	523
繰延税金資産	335	540
退職給付に係る資産	384	344
その他	788	658
貸倒引当金	△246	△158
投資その他の資産合計	5,054	5,384
固定資産合計	10,041	10,273
資産合計	61,618	58,532

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	24,283	21,124
短期借入金	13,777	13,757
1年内返済予定の長期借入金	232	136
リース債務	59	86
未払法人税等	247	89
賞与引当金	459	454
役員賞与引当金	28	15
その他	2,745	2,935
流動負債合計	41,834	38,599
固定負債		
長期借入金	217	173
リース債務	162	163
繰延税金負債	273	267
退職給付に係る負債	130	125
資産除去債務	8	10
固定負債合計	791	739
負債合計	42,626	39,339
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,186	7,186
資本剰余金	855	855
利益剰余金	10,998	11,754
自己株式	△177	△245
株主資本合計	18,862	19,550
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	66	△284
繰延ヘッジ損益	△13	0
為替換算調整勘定	△3	△114
退職給付に係る調整累計額	80	41
その他の包括利益累計額合計	129	△357
純資産合計	18,991	19,193
負債純資産合計	61,618	58,532

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
売上高	138,487	115,548
売上原価	125,322	103,164
売上総利益	13,165	12,384
販売費及び一般管理費		
物流費	1,412	1,323
販売諸掛	1,835	1,795
貸倒引当金繰入額	6	3
役員報酬及び給料手当	2,702	2,701
従業員賞与	353	344
賞与引当金繰入額	425	422
役員賞与引当金繰入額	28	15
退職給付費用	163	147
雑給	808	790
減価償却費	210	252
その他	3,534	3,396
販売費及び一般管理費合計	11,481	11,193
営業利益	1,683	1,191
営業外収益		
受取利息	59	109
受取配当金	52	57
受取地代家賃	5	6
持分法による投資利益	43	11
為替差益	—	32
その他	83	78
営業外収益合計	244	297
営業外費用		
支払利息	173	186
持分法による投資損失	12	23
為替差損	28	—
貸倒引当金繰入額	△0	27
その他	53	37
営業外費用合計	267	275
経常利益	1,661	1,213

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
特別利益		
固定資産売却益	0	0
投資有価証券売却益	52	10
出資金売却益	—	30
その他	—	1
特別利益合計	52	42
特別損失		
固定資産除却損	11	6
減損損失	17	—
出資金評価損	79	0
関係会社出資金評価損	0	—
その他	4	4
特別損失合計	112	11
税金等調整前当期純利益	1,600	1,245
法人税、住民税及び事業税	489	280
法人税等調整額	△41	△44
法人税等合計	448	236
当期純利益	1,152	1,008
親会社株主に帰属する当期純利益	1,152	1,008

(連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
当期純利益	1,152	1,008
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△540	△350
繰延ヘッジ損益	22	14
為替換算調整勘定	△193	△111
退職給付に係る調整額	14	△39
その他の包括利益合計	△696	△486
包括利益	455	522
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	455	522

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	7,186	855	10,071	△22	18,090
当期変動額					
剰余金の配当			△225		△225
親会社株主に帰属する当期純利益			1,152		1,152
自己株式の取得				△154	△154
自己株式の処分					
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	926	△154	772
当期末残高	7,186	855	10,998	△177	18,862

	その他の包括利益累計額					純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	606	△36	190	65	826	18,916
当期変動額						
剰余金の配当						△225
親会社株主に帰属する当期純利益						1,152
自己株式の取得						△154
自己株式の処分						—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△540	22	△193	14	△696	△696
当期変動額合計	△540	22	△193	14	△696	75
当期末残高	66	△13	△3	80	129	18,991

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	7,186	855	10,998	△177	18,862
当期変動額					
剰余金の配当			△252		△252
親会社株主に帰属する当期純利益			1,008		1,008
自己株式の取得				△80	△80
自己株式の処分		0		11	12
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	0	756	△68	688
当期末残高	7,186	855	11,754	△245	19,550

	その他の包括利益累計額					純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	66	△13	△3	80	129	18,991
当期変動額						
剰余金の配当						△252
親会社株主に帰属する当期純利益						1,008
自己株式の取得						△80
自己株式の処分						12
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△350	14	△111	△39	△486	△486
当期変動額合計	△350	14	△111	△39	△486	201
当期末残高	△284	0	△114	41	△357	19,193

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	1,600	1,245
減価償却費	295	350
減損損失	17	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△91	△106
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	4	△21
受取利息及び受取配当金	△111	△167
支払利息	173	186
為替差損益 (△は益)	0	21
有形固定資産売却損益 (△は益)	△0	△0
有形固定資産除却損	11	6
投資有価証券売却損益 (△は益)	△52	△10
関係会社出資金評価損	0	—
出資金売却損益 (△は益)	—	△30
出資金評価損	79	0
売上債権の増減額 (△は増加)	1,165	3,169
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△1,196	△152
その他の資産の増減額 (△は増加)	22	△307
仕入債務の増減額 (△は減少)	813	△3,026
その他の負債の増減額 (△は減少)	7	233
その他	36	△11
小計	2,777	1,377
利息及び配当金の受取額	112	160
利息の支払額	△173	△187
法人税等の支払額	△517	△437
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,199	913
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△115	△78
有形固定資産の売却による収入	0	2
投資有価証券の取得による支出	△628	△259
投資有価証券の売却による収入	530	39
出資金の払込による支出	△11	△132
出資金の売却による収入	27	66
貸付けによる支出	△25	△485
貸付金の回収による収入	45	35
その他	△20	△17
投資活動によるキャッシュ・フロー	△196	△828

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△1,459	△6
長期借入れによる収入	100	100
長期借入金の返済による支出	△232	△240
リース債務の返済による支出	△159	△98
自己株式の取得による支出	△154	△80
配当金の支払額	△225	△252
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,131	△577
現金及び現金同等物に係る換算差額		
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△198	△538
現金及び現金同等物の期首残高	12,636	12,437
現金及び現金同等物の期末残高	12,437	11,899

- (5) 連結財務諸表に関する注記事項
(継続企業の前提に関する注記)
該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務諸表が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、本社に取扱商品・サービス又は対象業界別の事業部をおき、各事業部は取扱う商品・サービスについて国内及び海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社は、事業部を基礎とした商品・サービス別のセグメントから構成され、「繊維関連事業」及び「工業製品関連事業」の二つを報告セグメントとしております。

「繊維関連事業」は主に化合繊系、化合繊織物、肌着、靴下、婦人服及び紳士服を取扱い、「工業製品関連事業」は主に機械、化成品、ホビー、理化学機器、紙管、花火及び不動産管理等のサービスを取扱っております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報
前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位: 百万円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	連結財務諸表 計上額 (注2)
	繊維関連事業	工業製品 関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	109,790	28,697	138,487	-	138,487
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	0	0	△0	-
計	109,790	28,697	138,487	△0	138,487
セグメント利益	948	1,354	2,303	△619	1,683
セグメント資産	39,940	15,838	55,779	5,839	61,618
その他の項目					
減価償却費	52	125	178	116	295
持分法適用会社への投資額	300	94	394	-	394
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	172	54	227	56	284

(注) 1 セグメント利益の調整額△619百万円には、セグメント間取引消去8百万円、各報告セグメントに配分しない全社費用△627百万円が含まれております。

セグメント資産の調整額5,839百万円には、当社の現金及び預金、投資有価証券並びに管理部門に係る資産等5,846百万円及び報告セグメント間の債権の相殺消去等△7百万円が含まれております。

2 セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度（自 2019年4月1日 至 2020年3月31日）

（単位：百万円）

	報告セグメント			調整額 (注1)	連結財務諸表 計上額 (注2)
	繊維関連事業	工業製品 関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	89,782	25,766	115,548	—	115,548
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	0	0	△0	—
計	89,782	25,766	115,549	△0	115,548
セグメント利益	529	1,170	1,700	△508	1,191
セグメント資産	36,802	16,843	53,645	4,886	58,532
その他の項目					
減価償却費	99	132	232	117	350
持分法適用会社への投資額	276	82	358	—	358
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	171	60	232	29	262

(注) 1 セグメント利益の調整額△508百万円には、セグメント間取引消去12百万円、各報告セグメントに配分しない全社費用△521百万円が含まれております。

セグメント資産の調整額4,886百万円には、当社の現金及び預金、投資有価証券並びに管理部門に係る資産等4,894百万円及び報告セグメント間の債権の相殺消去等△7百万円が含まれております。

2 セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(参考) 海外売上高

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

	アジア	北米	その他	計
I 海外売上高(百万円)	70,558	8,168	4,097	82,824
II 連結売上高(百万円)				138,487
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	50.9	5.9	3.0	59.8

- (注) 1 国または地域の区分は、地理的近接度によっております。
- 2 各区分に属する主な国または地域は以下のとおりであります。
 アジア……中国、香港
 北米 ……アメリカ
 その他……欧州
- 3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国または地域における売上高であります。

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

	アジア	北米	その他	計
I 海外売上高(百万円)	53,959	6,039	3,881	63,880
II 連結売上高(百万円)				115,548
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	46.7	5.2	3.4	55.3

- (注) 1 国または地域の区分は、地理的近接度によっております。
- 2 各区分に属する主な国または地域は以下のとおりであります。
 アジア……中国、香港
 北米 ……アメリカ
 その他……欧州
- 3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国または地域における売上高であります。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
1株当たり純資産額	3,006.92円	3,065.74円
1株当たり当期純利益金額	178.92円	159.85円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益金額(百万円)	1,152	1,008
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益金額(百万円)	1,152	1,008
期中平均株式数(千株)	6,440	6,311

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

6. 個別財務諸表

(1) 貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当事業年度 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,009	6,069
受取手形	4,369	3,356
売掛金	11,148	10,588
リース投資資産	4	—
商品	5,162	5,681
未着商品	15	13
関係会社短期貸付金	12	42
未収入金	696	763
その他	209	184
貸倒引当金	△193	△170
流動資産合計	29,434	26,529
固定資産		
有形固定資産		
建物	545	520
機械及び装置	2	1
工具、器具及び備品	38	40
土地	1,414	1,414
リース資産	21	12
有形固定資産合計	2,021	1,989
無形固定資産		
リース資産	454	343
その他	48	53
無形固定資産合計	503	396
投資その他の資産		
投資有価証券	2,652	2,423
関係会社株式	2,620	2,610
出資金	174	143
関係会社出資金	1,020	1,020
長期貸付金	1	453
関係会社長期貸付金	697	809
固定化営業債権	214	144
長期前払費用	24	17
前払年金費用	268	285
長期保証金	245	208
繰延税金資産	264	426
その他	104	99
貸倒引当金	△726	△699
投資その他の資産合計	7,559	7,944
固定資産合計	10,084	10,330
資産合計	39,518	36,860

(単位：百万円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当事業年度 (2020年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形	1,728	1,166
買掛金	11,003	9,669
短期借入金	11,928	11,128
リース債務	41	24
未払金	918	934
未払法人税等	195	35
未払事業所税	9	9
未払費用	0	0
預り金	443	406
賞与引当金	276	258
役員賞与引当金	18	14
その他	276	245
流動負債合計	26,837	23,892
固定負債		
リース債務	36	20
固定負債合計	36	20
負債合計	26,874	23,912
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,186	7,186
資本剰余金		
資本準備金	913	913
その他資本剰余金	—	0
資本剰余金合計	913	913
利益剰余金		
利益準備金	106	131
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	4,570	5,238
利益剰余金合計	4,677	5,369
自己株式	△177	△245
株主資本合計	12,599	13,224
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	58	△277
繰延ヘッジ損益	△13	0
評価・換算差額等合計	44	△276
純資産合計	12,644	12,947
負債純資産合計	39,518	36,860

(2) 損益計算書

(単位：百万円)

	前事業年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
売上高	73,588	64,227
売上原価	66,392	57,211
売上総利益	7,196	7,015
販売費及び一般管理費	6,564	6,388
営業利益	631	626
営業外収益		
受取利息	14	36
受取配当金	317	484
為替差益	70	15
経営指導料	121	115
その他	33	16
営業外収益合計	557	668
営業外費用		
支払利息	159	133
貸倒引当金繰入額	43	81
その他	43	26
営業外費用合計	247	240
経常利益	941	1,054
特別利益		
固定資産売却益	—	0
投資有価証券売却益	52	3
出資金売却益	—	30
その他	—	1
特別利益合計	52	35
特別損失		
固定資産除却損	9	6
出資金評価損	79	—
その他	4	4
特別損失合計	93	10
税引前当期純利益	900	1,080
法人税、住民税及び事業税	228	153
法人税等調整額	10	△19
法人税等合計	239	134
当期純利益	661	945

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本								株主資本合計
	資本金	資本剰余金			利益剰余金			自己株式	
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	利益準備金	繰越利益剰余金	利益剰余金合計		
当期首残高	7,186	913	—	913	83	4,157	4,241	△22	12,318
当期変動額									
剰余金の配当						△225	△225		△225
利益準備金の積立					22	△22	—		—
当期純利益						661	661		661
自己株式の取得								△154	△154
自己株式の処分									
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)									
当期変動額合計	—	—	—	—	22	413	435	△154	281
当期末残高	7,186	913	—	913	106	4,570	4,677	△177	12,599

	評価・換算差額等			純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	評価・換算差額等合計	
当期首残高	582	△36	546	12,864
当期変動額				
剰余金の配当				△225
利益準備金の積立				—
当期純利益				661
自己株式の取得				△154
自己株式の処分				—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△524	22	△501	△501
当期変動額合計	△524	22	△501	△220
当期末残高	58	△13	44	12,644

当事業年度（自 2019年4月1日 至 2020年3月31日）

（単位：百万円）

	株主資本								株主資本合計
	資本金	資本剰余金			利益剰余金			自己株式	
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計		
当期首残高	7,186	913	—	913	106	4,570	4,677	△177	12,599
当期変動額									
剰余金の配当						△252	△252		△252
利益準備金の積立					25	△25	—		—
当期純利益						945	945		945
自己株式の取得								△80	△80
自己株式の処分			0	0				11	12
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）									
当期変動額合計	—	—	0	0	25	667	692	△68	624
当期末残高	7,186	913	0	913	131	5,238	5,369	△245	13,224

	評価・換算差額等			純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	評価・換算差額等合計	
当期首残高	58	△13	44	12,644
当期変動額				
剰余金の配当				△252
利益準備金の積立				
当期純利益				945
自己株式の取得				△80
自己株式の処分				12
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	△335	14	△321	△321
当期変動額合計	△335	14	△321	303
当期末残高	△277	0	△276	12,947

2020年3月期 連結決算ハイライト

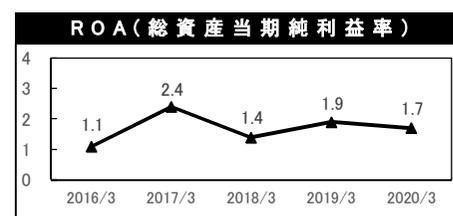
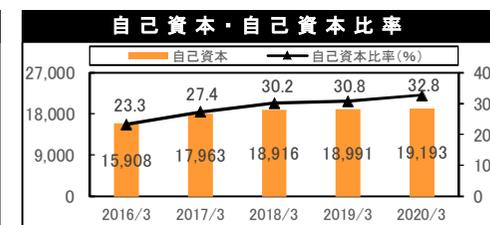
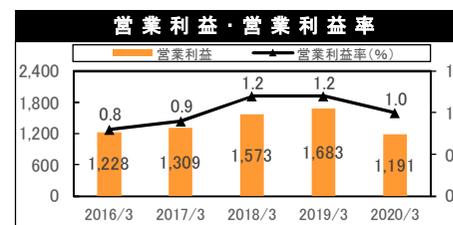
2020年5月15日
株式会社GSIクレオス
(単位:百万円)

経営成績	2020年 3月期	2019年 3月期	前期比	主な増減要因
売上高	115,548	138,487	△ 22,938	【売上高】
売上総利益	12,384	13,165	△ 780	暖冬などの天候不順や新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、減収。なお、感染症拡大の影響は主に繊維事業に及ぶ(中国での生産が遅延し物流も停滞するなど、サプライチェーンに乱れが生じる)。
販売費	3,510	3,675	△ 164	
一般管理費	7,682	7,806	△ 124	
営業利益	1,191	1,683	△ 492	
利息収支	△ 77	△ 114	36	
受取配当金	57	52	5	【売上総利益】【営業利益】【経常利益】 減収により減益。
為替差損益	32	△ 28	61	【親会社株主に帰属する当期純利益】 ・前期は、特別損失に出資金評価損(約79百万円)などを計上。 ・税金費用が減少。
持分法による投資損益	△ 12	31	△ 43	
その他	20	36	△ 15	
経常利益	1,213	1,661	△ 447	
特別利益	42	52	△ 9	
特別損失	11	112	△ 101	
税金等調整前当期純利益	1,245	1,600	△ 355	
法人税等	236	448	△ 212	
親会社株主に帰属する当期純利益	1,008	1,152	△ 143	

セグメント情報	売上高			セグメント利益(営業利益)		
	2020年 3月期	2019年 3月期	前期比	2020年 3月期	2019年 3月期	前期比
繊維事業	89,782	109,790	△ 20,007	529	948	△ 419
工業製品事業	25,766	28,697	△ 2,931	1,170	1,354	△ 183
調整額	-	-	-	△ 508	△ 619	110
合計	115,548	138,487	△ 22,938	1,191	1,683	△ 492
【繊維事業】 減収 減益			【工業製品事業】 減収 減益			
主な増減要因	【増収】 アウター用生地(欧米向け) アウター製品			主な増減要因	【増収】 塗料原料 ブラモデル用塗料・工具	
	【減収】 インナー用機能糸・生地(海外販売) パンスト・タイツ用加工糸				【堅調】 化粧品原料 環境関連事業(生分解性プラ)	
	インナーOEM製品(中国販売)				【減収】 フィルム関連、化学品(米国販売)	
	婦人ファンデーション				中国製半導体基板、機械装置	

地域別売上高	2020年 3月期		2019年 3月期		前期比	
	金額	構成比(%)	金額	構成比(%)	金額	構成比
アジア	53,959	46.7	70,558	50.9	△ 16,598	△ 4.2pt
北米	6,039	5.2	8,168	5.9	△ 2,128	△ 0.7pt
欧州他	3,881	3.4	4,097	3.0	△ 216	0.4pt
海外売上高	63,880	55.3	82,824	59.8	△ 18,943	△ 4.5pt
日本	51,668	44.7	55,663	40.2	△ 3,995	4.5pt
合計	115,548	100.0	138,487	100.0	△ 22,938	-

財政状態	2020年 3月末	2019年 3月末	前期比	主な増減要因
総資産	58,532	61,618	△ 3,085	【総資産】 売上債権の減少等により減少。
負債	39,339	42,626	△ 3,287	【負債】 仕入債務の減少等により減少。
(ネット有利子負債)	2,167	1,789	378	
純資産	19,193	18,991	201	【純資産】 その他の包括利益累計額が減少するも、親会社株主に帰属する当期純利益の計上による株主資本の増加により増加。
自己資本	19,193	18,991	201	
自己資本比率	32.8%	30.8%	2.0pt	
ROA(総資産当期純利益率)	1.7%	1.9%	△ 0.2pt	



次期の見通し	2021年 3月期 (予想)	2020年 3月期 (実績)	当期比
売上高	-	115,548	-
営業利益	-	1,191	-
経常利益	-	1,213	-
親会社株主に帰属する当期純利益	-	1,008	-
1株当たり配当金(円)	-	45※	-

キャッシュ・フローの状況	2020年 3月期	2019年 3月期	当期の主な増減要因
営業活動によるCF	913	2,199	【営業活動によるCF】
投資活動によるCF	△ 828	△ 196	税金等調整前当期純利益の計上等により増加。
(フリー・キャッシュ・フロー)	85	2,002	【投資活動によるCF】
財務活動によるCF	△ 577	△ 2,131	貸付による支出等により減少。
現金・現金同等物に係る換算差額	△ 45	△ 69	【財務活動によるCF】
現金・現金同等物の増減額	△ 538	△ 198	配当金の支払い等により減少。

(注)次期の業績予想および配当予想:新型コロナウイルス感染症拡大が業績に与える影響を精査中であり、次期の業績を合理的に予想することが可能となった時点で速やかに公表いたします。

※前期(2019年3月期)実績比で5円の増配。